

報道各位

Rapyuta Robotics製ピッキングアシスト用AMRを日本通運にRaaSとして提供開始

物流施設の自動化に向けたロボットサービス（RaaS：Robotics as a Service※1）を提供するプラスオートメーション株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：飯間 卓、以下「+A」）はロボティクスプラットフォームを提供するRapyuta Robotics 株式会社（東京都中央区、代表取締役 CEO：Gajan Mohanarajah、以下「Rapyuta Robotics」）の倉庫向け協働型ピッキングアシストロボット：AMR(Autonomous Mobile Robot)を、日本通運株式会社（東京都港区、代表取締役社長：齋藤充、以下「日本通運」）の平和島のセンターに RaaS として提供を開始しました。この結果、日本通運は初期投資を抑えロボット使用料・メンテナンス料等必要なすべてを含む月額定額料金のみで、AMR を活用することが可能となりました。

Rapyuta Robotics の AMR の大きな特徴としては、人との共存を前提に製造されておりかつ既存のピッキング作業環境を生かして導入可能なところにあります。AMR を活用することで物流現場の課題であった、未経験作業員への教育時間・間接コストの削減、作業員の能力に依存しない作業品質の均一化、ロボットと人を共存させることでピッキング能力の向上、物量の増減に合わせた柔軟な活用が期待されます。定量的な効果に加え、天災や疾病災害等を由来とする昨今の不確実な世界情勢の中で人の確保に依らない安定した稼働により物流を支え、BCP の観点でも大いに期待されます。



AMR導入前：人が商品を探査、人が商品をピッキング、人が商品を出荷

AMR導入後：ロボットが商品を探査、人が商品をピッキング、ロボットが商品を出荷

+Aでは高い柔軟性と機動力を持つRapyuta Robotics製のAMRや、既に多数の物流現場へRaaS提供をしている Zhejiang Libiao Robots Co., Ltd.製のソーティングロボット「t-Sort（※2）」をはじめとした国内外の様々なロボットを活用して、初期投資不要の月額定額サービスを通じ、日本通運をはじめ、多くのお客様の物流現場の課題解決と高度化に貢献し、物流の競争力向上を共に目指します。

以上

※1：RaaSとはロボットを完全月額定額制でお客様にご提供するものです。導入時の初期費用を抑えるもしくは発生させず、レンタル・メンテナンス、保険料やロボット資産税等継続的に発生するランニングコスト・契約満了時の撤去代金のすべてを月額定額費用に織り込むことが可能です。また、柔軟性と機動力を生かし、ご要望に応じて契約期間中の短期のロボット台数やスペース増減にも対応し、今までの固定設備では成し得なかった物流現場の課題解決が可能となる待望のサービスとなります。

※2：「t-Sort」は、小型の無人搬送車（AGV）により物品を搬送し、少人数・短期間・大量の仕分け作業を実現する「全設備可動式の次世代型ソーターシステム」です。従来のソーターと比較し高い柔軟性（物量に合わせて処理能力増減可、レイアウト変更や空きスペースに自由に配置可）と機動力（導入・撤去短リードタイム、ネットワーク・200V電源工事不要、故障時は瞬時に交換可能）を持つことに加え、省スペース（ソーター対比最大50%以下）での運用を実現します。



小型t-Sort：5kgまで軽量物の仕分け作業向け



大型t-Sort：軽量物から重量物(～50KG)までの仕分け作業向け

<プラスオートメーション株式会社について <https://plus-automation.com> >

プラスオートメーションは、国内有数の物流子会社を有し、海外を含めたロボット調達に幅広いネットワークを有する三井物産株式会社と先進的物流施設のリーディングプロバイダーである日本GLP 株式会社の出資を受け、2019年6月に設立されました。

「テクノロジーで次代の物流を共に創る」をコンセプトに、物流自動化サービスを皮切りに新たな物流サービスを提供して参ります。

本件に関する問い合わせ先：プラスオートメーション 広報担当 山田

Email：info@plus-automation.com